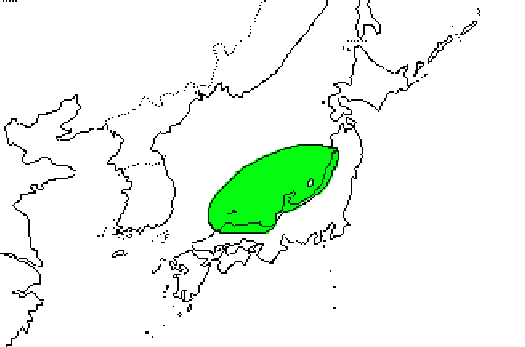


ダクト発生4~7エリア間オープン情報

2006年10月14日~15日 JG0TEV 中村

10月15日のダクト発生域(推定)



ダクト発生による
4~7エリア間オープンが確認されました

ダクト発生による7~4エリア間オープンが確認された模様。

7L3HZS-戸さんからの情報・・・

10/14 20:55 JA7AXP 青森県弘前市 59-59 7L3HZS/7 秋田県にかほ市

10/14 21:21 JF8DKD 北海道函館市 59-53 7L3HZS/7 秋田県にかほ市

10/14 22:58 JA8UEB 北海道千歳市 59-59 7L3HZS/7 秋田県にかほ市(千歳は

10/15 07:21 JG3UJH/3 京都府宮津市 59-59 7L3HZS/7 秋田県にかほ市

J071ZC須藤さんからの情報・・・

7~4エリア間オープンが確認された模様。交信は3エリアのみ。

10/15 08:05 JG3UJH/3(京都府宮津市)-J071ZC(秋田県にかほ市) RS59-59

本州付近は移動性高気圧の張り出しに伴う乾燥空気の流れ込みと下降流の発生によって、ダクト発生条件がそろいやすくなったと考えます。

ダクトのピークは日中まで。

15日16時頃長岡市西山林道に移動したがダクトは消失していることを確認しました。

気象解析

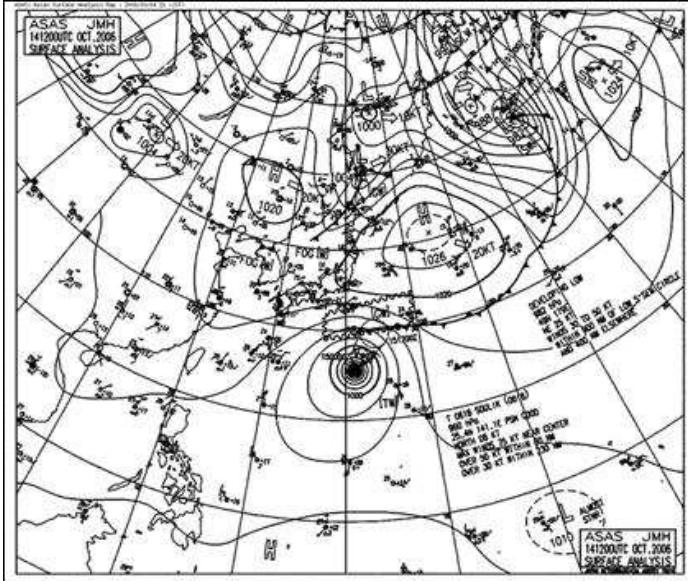
地上天気図から 秋の空気を伴った移動性高気圧日本海から本州付近を覆っていたことがわかります。

850hpa面解析図をみると、14日の日本付近は1,500mの等高線で囲まれた領域に広く覆われていたことがわかります。

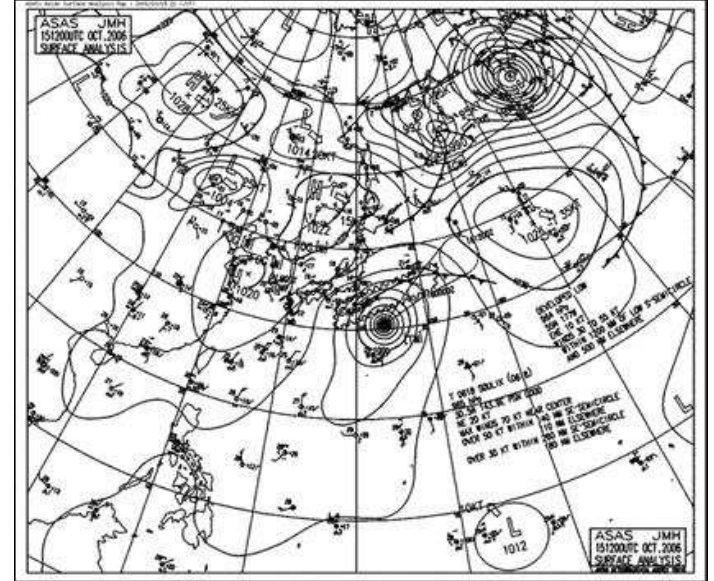
15日には台風の北上によって東日本や北日本では1,500m等高線で囲まれた領域から外れます。

地上天気図

14日21時

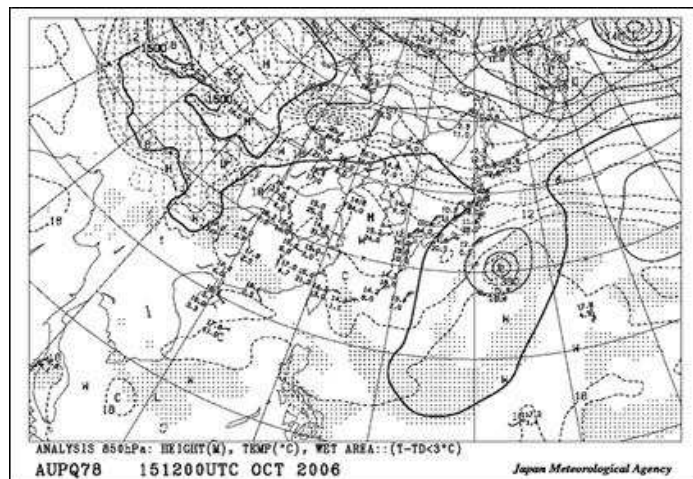
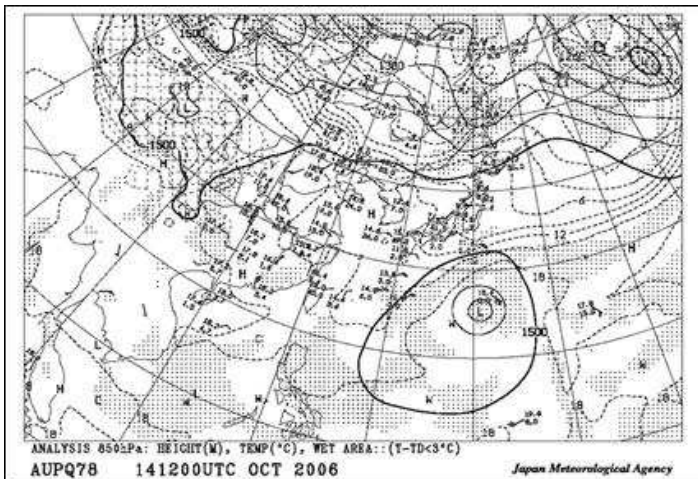


15日21時



850hpa面高度・気温・湿数
14日21時

15日21時



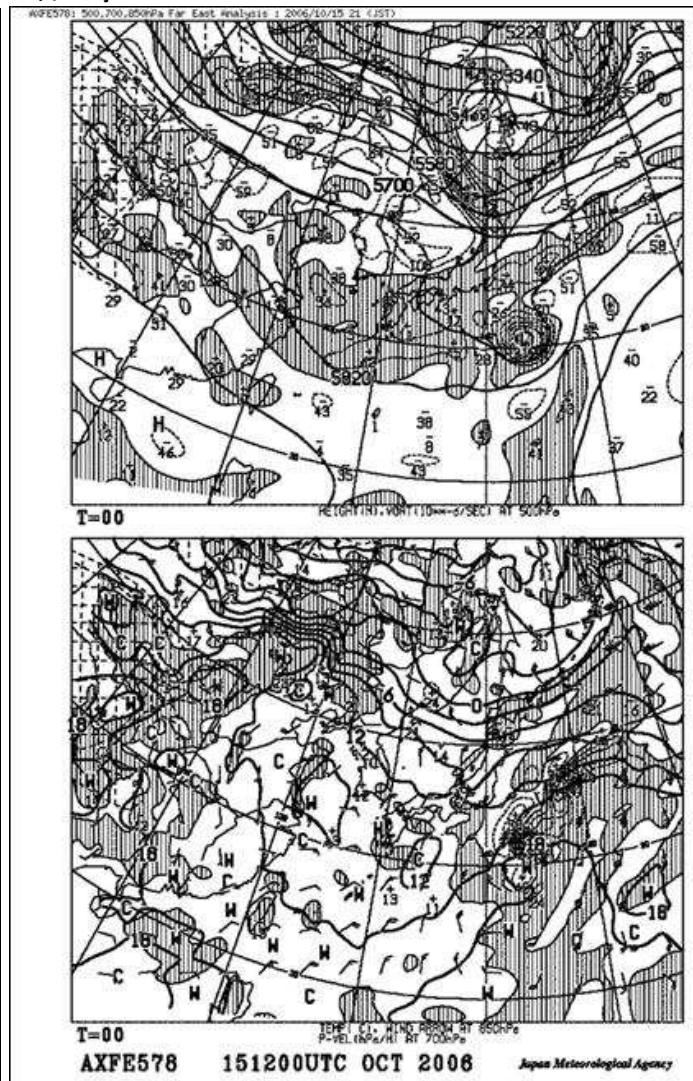
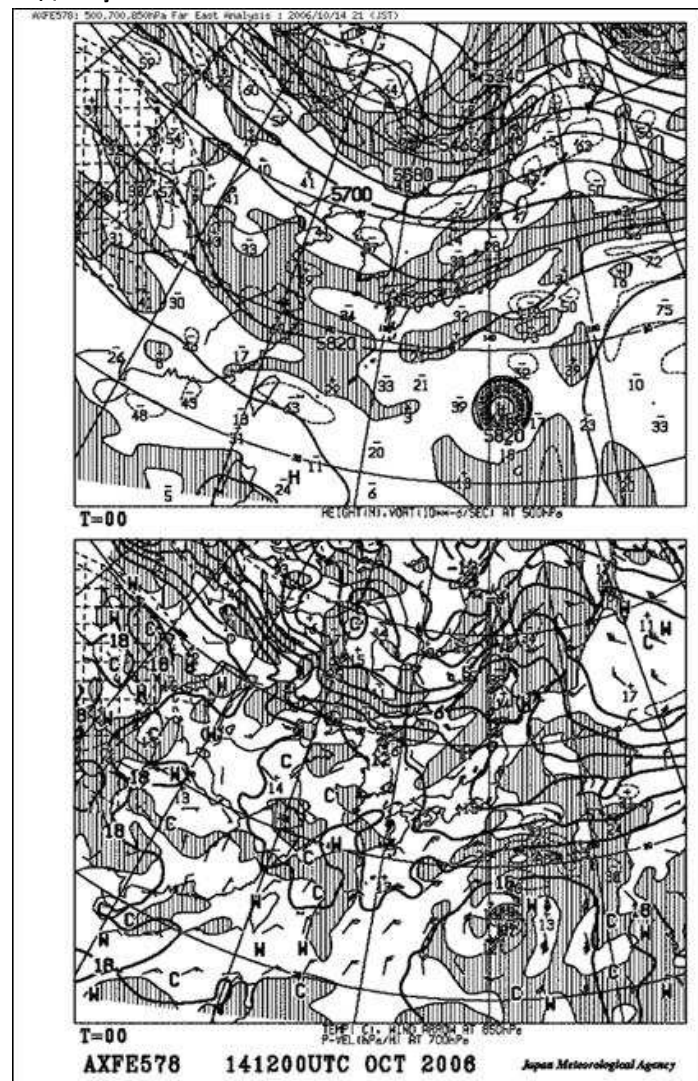
500hpa面の等高線を見ると、日本付近は5,700mを越えていておおむね高気圧の勢力圏内ですが、トラフの中にあつて正渦度領域覆われているところがあります。

700hpa面鉛直流解析図では、14日には上昇流域が顕著ですが南からの暖かい空気の流れ込みに寄るものと判断します。逆に、15日には下降流域の広がりが顕著ですが北からの寒気移流を伴っています。

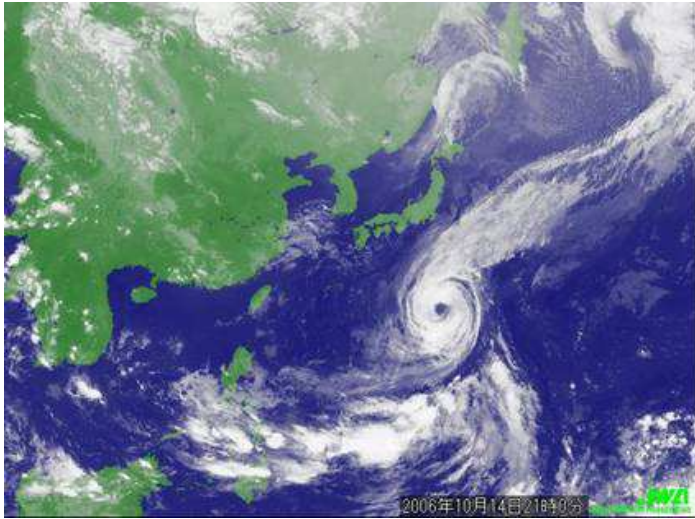
以上から、14日から15日の早い時間にかけてはダクト発生条件はそりやすい状態であったものと考えられます。15日の日中以降は気圧の谷が顕著になるとともに寒気移流によってダクトは消失していったものと考えます。

500hpa面高度と渦度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温
14日21時

15日21時



【参考】赤外線雲画像
14日21時



15日21時

